

14. 矢口

所管エリア:

下丸子一丁目、二丁目、三丁目、四丁目／千鳥一丁目 20-4~6・21-1~3・21-4の一部・21-13~20・23-1~4・23-17~24、二丁目 6-1~4・6-17の一部・6-18~24・27・36・38~41、三丁目 1・2・3-4~29・4~6・7-1~5・7-6の一部・7-11~24・8~25／矢口一丁目、二丁目、三丁目



二十一世紀桜

満開の桜並木はとても美しく、多くの人で賑わいます。



多摩川

野球やサッカー、テニス、ランニングなど、休日は多くの人都在这里汗を流しています。



ガス橋通りのケヤキ並木



矢口の渡し

下丸子2・4丁目付近は、スーパー堤防事業によって整備された地域です。土手沿いに植えられた桜並木は、大田区の新名所です。

ガス橋の名前は、1929年にガス会社が多摩川上にガスの高圧管を渡したことに由来します。そのとき、歩道橋の設置を地元の人々が要望したことで橋が架けられたそうです。

矢口地区には、江戸時代の渡し場が2カ所あります。1つ目は、古代の東海道や鎌倉街道下ツ道の渡し場であった「矢口の渡し」です。1949年多摩川大橋の完成まで利用されていました。二つ目は「平間の渡し」で、現在のガス橋付近でした。平間街道や池上道の渡し場だったと伝えられています。



新田神社

新田神社は矢口の渡しで謀殺された新田義興をまつる神社です。境内には、2007年に始まった多摩川アートラインプロジェクトの作品が展示されており、歴史的な神社と現代アートが共存しています。



新田神社の御神木

この辺りは、戦前から多くの工場が操業し、今も全国的に知られた工場や社屋があります。昔ながらの工場や近代的な工場など、様々な工場建築をみることができます。



桂川精螺製作所

元禄年間から大正末期まで多摩川では、奥多摩の山々から切り出したスギ・ヒノキなどの材木を筏にして多摩川の河口に近い六郷や羽田まで運び、江戸の間屋に渡していました。また、筏乗りが材木を渡した後、歩いて帰る多摩川沿いの道筋を筏道(いかだみち)と呼んでいました。

凡例	
	水辺
	公園や緑が多い場所
	寺
	神社
	眺望点
	注目点
	役所(本庁・出張所・地域庁舎)
	旧道
	桜並木
	街路樹
	幹線道路
	鉄道・駅

